

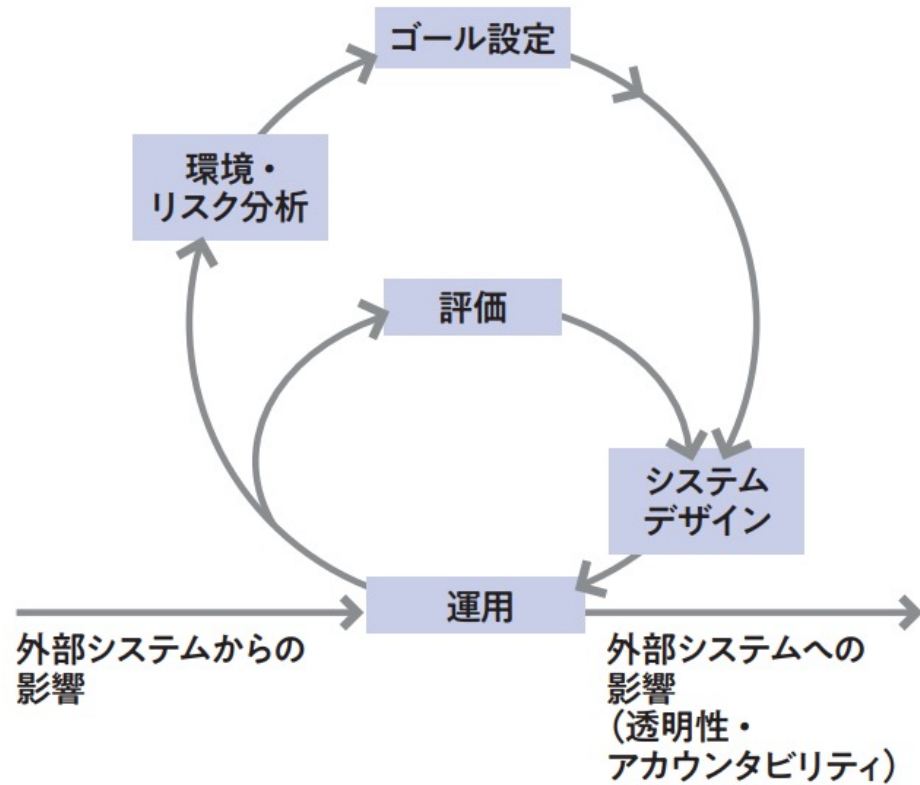


RegTechに関する動向

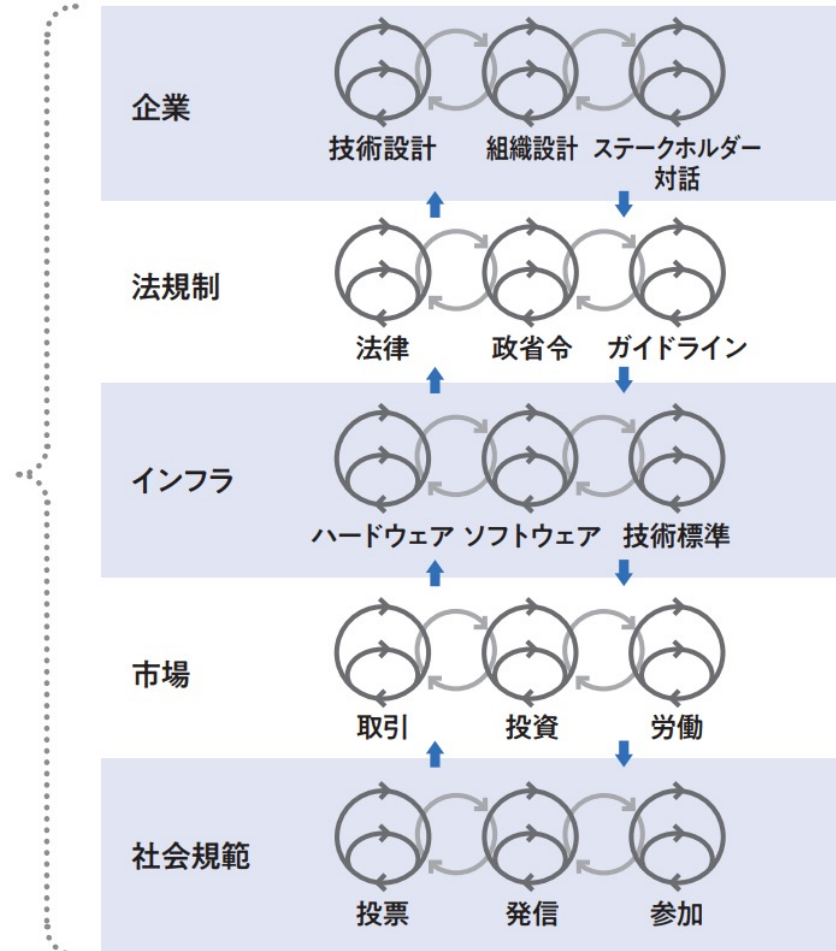
Centre for the Fourth Industrial Revolution Japan
世界経済フォーラム第四次産業革命日本センター

アジャイルガバナンス： マルチステークホルダーでガバナンスのプロセスを回すデジタル時代のガバナンスモデル

「アジャイル・ガバナンス」の基本コンポーネント



ガバナンス・オブ・ガバナンス



RegTechレポート（GFC on Agile Governance）

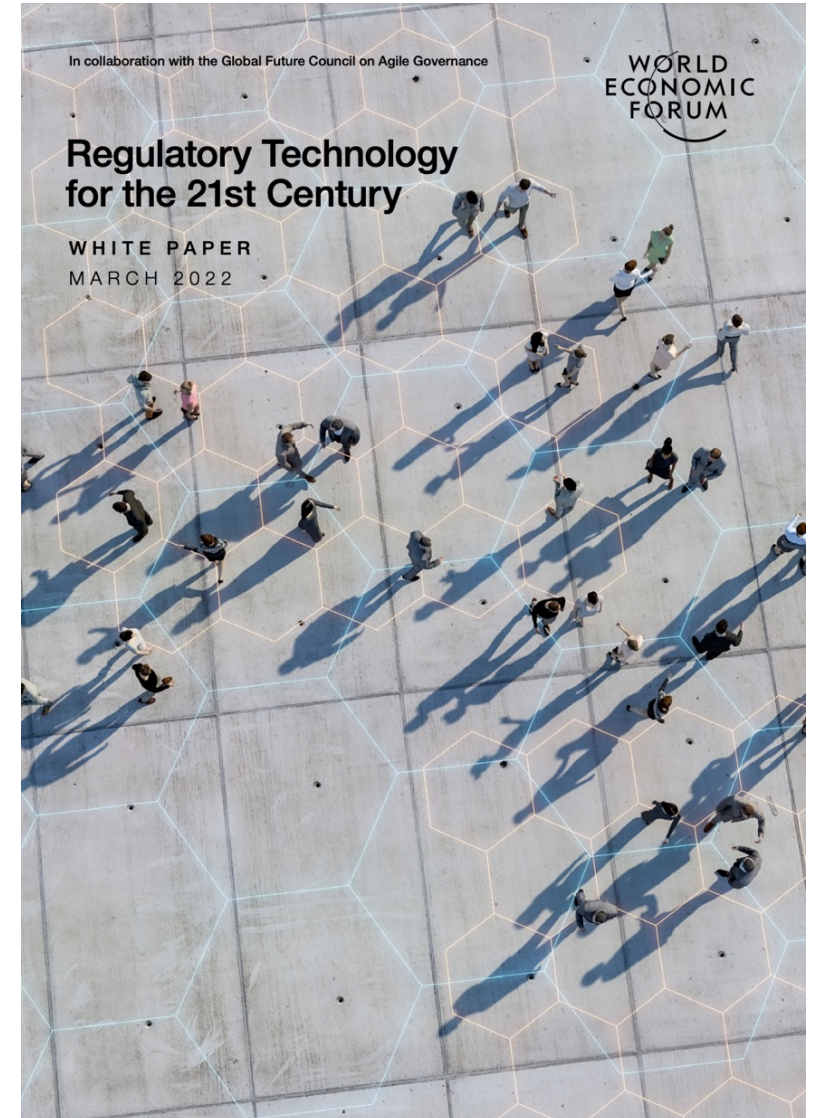
世界経済フォーラムは、白書「Regulatory Technology for the 21st Century（21世紀の規制のためのテクノロジー）」を2022年3月に公表

<背景と内容>：

- レグテックとは「規制が厳格な事業領域における（規制当局を含む）ステークホルダーが、コンプライアンスやリスク管理の義務を設定、実行、充足できるよう支援する技術的ソリューション」のこと
- レグテックにより、**静的規制から動的規制に移る支援**ができる。**市場の変化を察知する能力を高め、複雑なシステムを簡素化し、規制の変更を迅速に反映**するため、規制とガバナンスの効果を向上させつつ、コンプライアンス・コストを削減できると期待される
- チャレンジは、規制目的を担保しつつ変革的**レグテック・アプリケーションを適切に実装する方法の探索**であるため、本白書では、ケーススタディから共通成功要因を分析し、実装を始めるためのロードマップを示す

<結論>

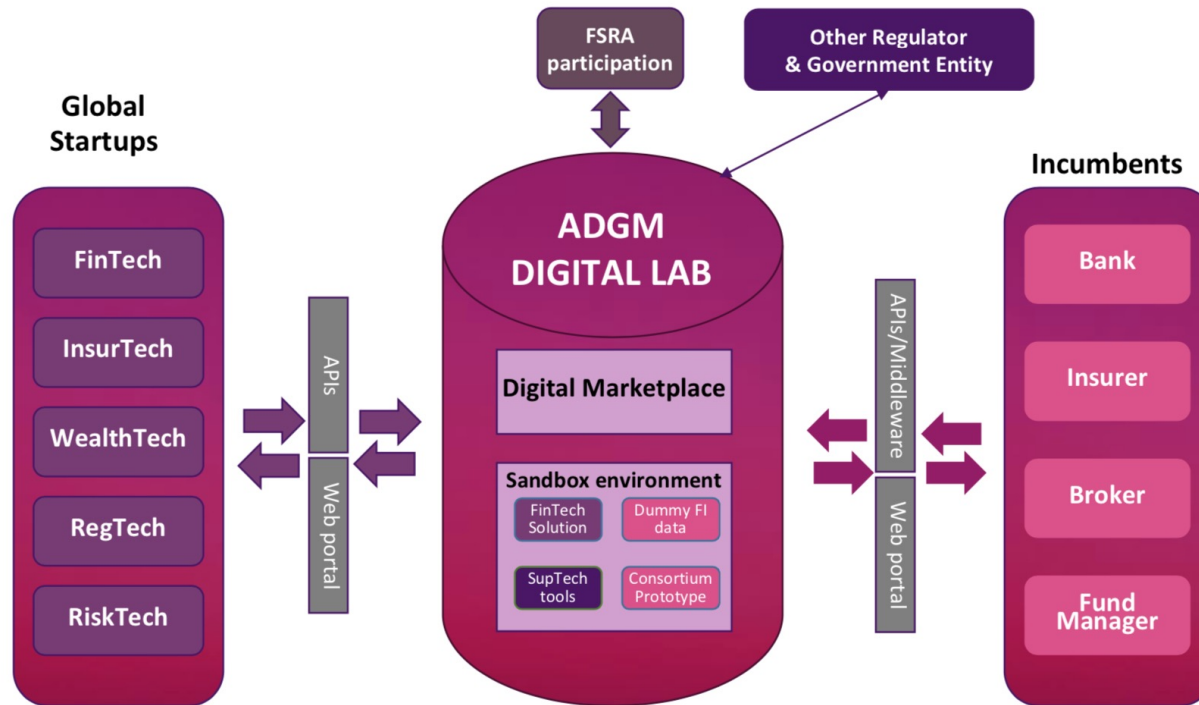
- レグテックの実装は、規制環境のさらなる見直しなしにはあり得ない
- **レグテックとアジャイルガバナンスの成功は相互に関連している**
- 多くの場合、「最善」または「最終」解決策はない。**レグテックとアジャイルガバナンスの組み合わせが、規制の枠組み全体を根底から覆したり、書き換えたりする必要がないことを認識することがまずは重要**であり、そのためには**漸進的で反復的な実験的思考の導入**が必要である



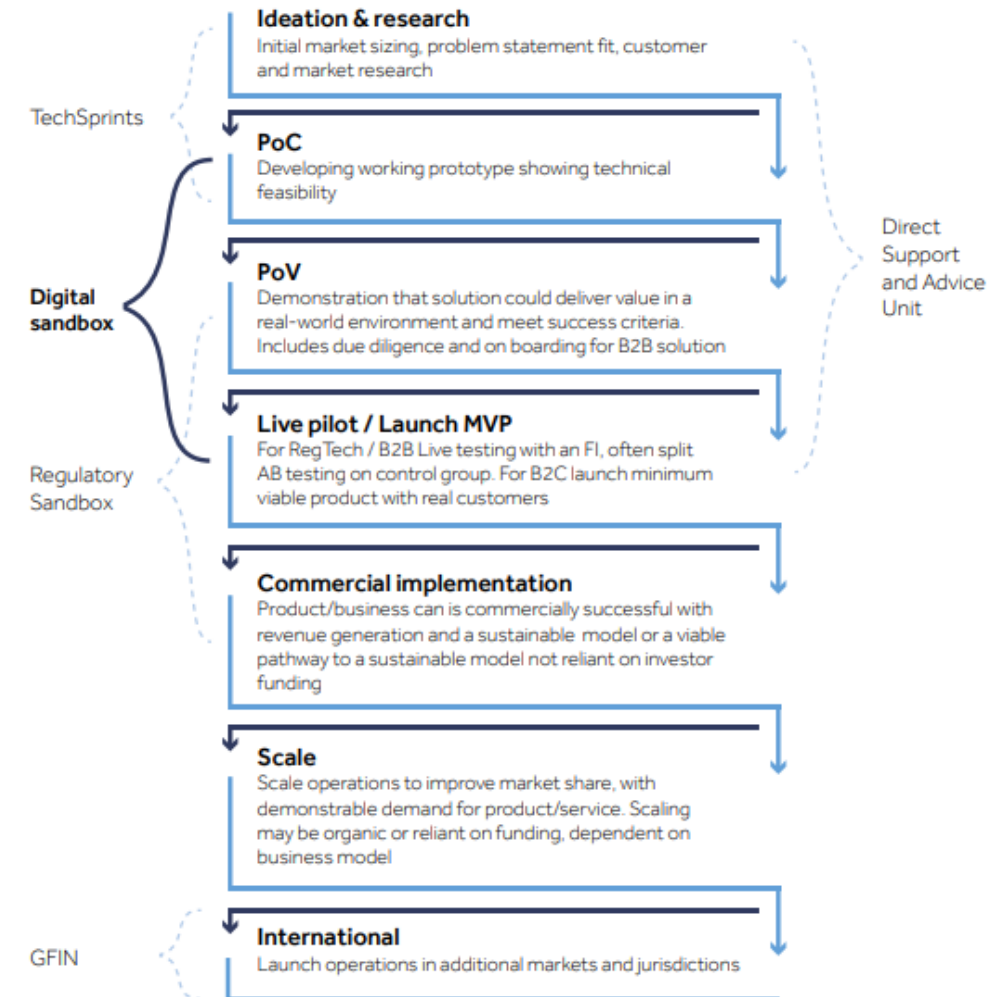
Use Cases: Digital Sandbox

アブダビ Digital Lab.

- 金融機関やFinTech企業が、金融サービス規制機構（FSRA）の監督下にある中立的な環境で、新しいソリューションをテスト・開発できるようにするためのデジタルプラットフォーム。



<https://www.adgm.com/financial-services-regulatory-authority/fintech/digital-lab>

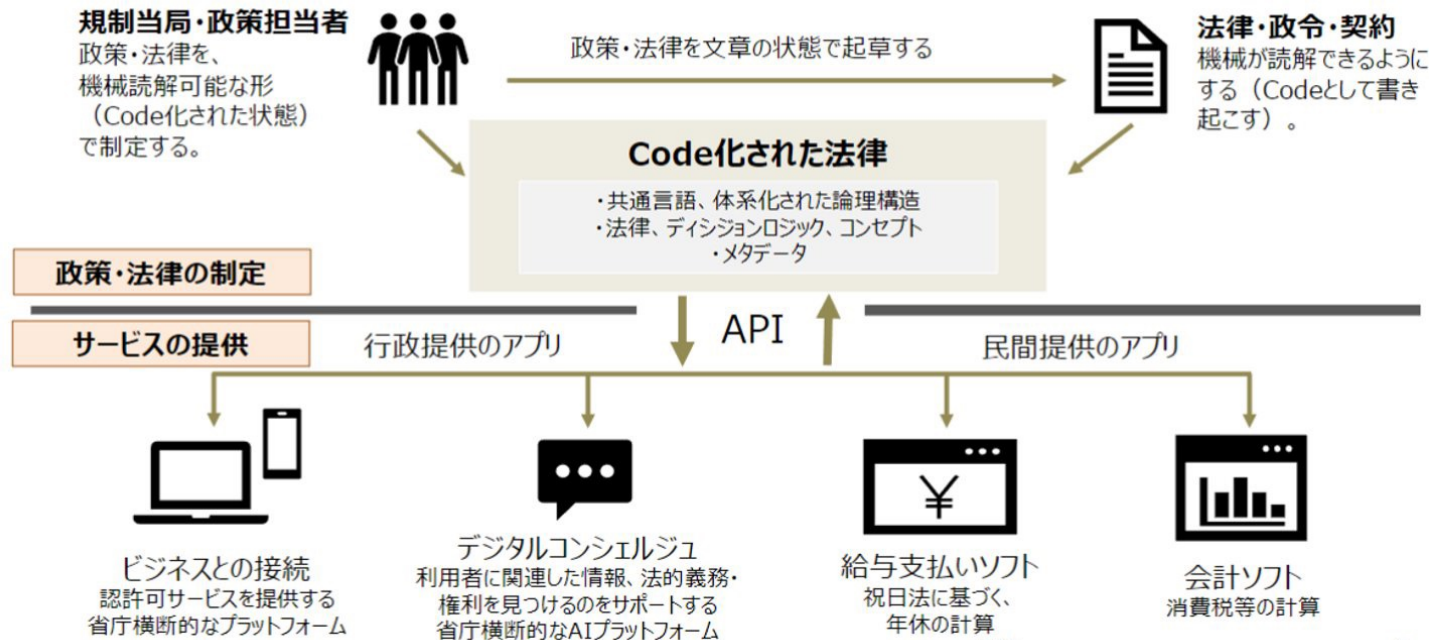


<https://www.digitalsandboxpilot.co.uk/>

Use Cases: Rules as Code

- Rules as Code (RaC) は、政府の中核的な機能の一つであるルール作りを見直すコンセプト
- 政府が公式のルール（法律や規則など）を機械判読可能な形で作成することを提案し、これによってルールがコンピュータシステムによって一貫した方法で理解され、実行されるようにする
- 複雑化する運用環境と、既存の規則作成システムに対する圧力の高まりへの対応として、現在多くの国がその可能性を模索している

概念図（ニュージーランドの事例）



※参考: "Exploring Machine Consumable Accident Compensation Legislation" 3

Cf) Open Fisca

フランス政府が2011年に始めたオープンソースイニシアティブ。事前評価を適切に行うために、主として税金・給付を対象として、制度を機械実行可能コードとして入力することで、税額等を計算するシステムの標準を提供。そのうちの、ニュージーランド **Rapu Ture**は、立法規則を探索し、呼び出すことができるAPIライブラリ

Is each family classified as eligible for best start tax credit

Best Start Boolean MONTH Formula Included used 1 time

Value type Boolean - Default value false Entity family

How is this calculated?

To calculate this variable, the following input is used

- Int age_of_youngest The age of the youngest member of a family
 - Int age The age of a Person (in years)
 - Date date_of_birth Birth date
- Date date_of_birth Birth date
- Date due_date_of_birth Birth due date

0001-01-01

This formula is used for scenarios from the date 0001-01-01 onwards. [More info on formulas](#)

```
def formula(families, period, parameters):
    families_have_children_born_after_launch_date = families.max(
        families.members('date_of_birth', period) >= datetime64('2018-07-01'))
    families_have_children_due_after_launch_date = families.max(
        families.members('due_date_of_birth', period) >= datetime64('2018-07-01'))
    # NOTE: using the age at the start of the month
    # Age changes on a DAY, but this calculation only has a granularity of MONTH
    families_have_children_younger_than_three_years = families(
        'age_of_youngest', period.start) < 3
    return ((families_have_children_born_after_launch_date + families_have_children_due_after_launch_date) > 0) * \
        families_have_children_younger_than_three_years
```


Agile Nations RegTech WG

<Agile Nations とは>

- ・ アジャイルガバナンスを推進する国家間連携の枠組みとして2020年12月に設立。
- ・ **カナダ、デンマーク、イタリア、日本、シンガポール、アラブ首長国連邦、及び英国**が参加。WEF、OECDはオブザーバー参加
- ・ Agile Governanceに関するルール形成、国家間連携に向けて取り組む

<RegTech WG>

- ・ 第二期の取り組みとして、UKと日本で共同で実施。
- ・ UKは、2021年より法情報を機械判読可能にし、Open APIで公開するOpen Regulation Platformの開発に着手。RegTech企業振興を目指す。
- ・ 日本でも、デジタル臨時行政調査会を中心に、法令データのマスターデータ化、公開APIの拡充に着手（時系列データ、告示データ）
- ・ お互いの知見を交換しつつ、連携可能な範囲を模索中（以下はTBD）
 - 1) RegTechマップの作成
 - 2) 公開APIのデータの標準化（相互運用性確保）

<参考：デジタル法制ロードマップ>

